教科目名　経済学概説（Economics）

学科名・学年　：全学科　４年
単位数など　：選択　２単位（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 45 時間）
担当教員　：石井まこと

授業の概要

経済学は人類を貧困から解放する学問として発達し，社会の発展に多大な影響力をもっている．一方で，経済発展のなかで新たな格差や貧困も起きている．こうした経済社会問題の根底にある経済学の考え方について，初心者向けにわかりやすく解説していく．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)**

(1) マスメディアで流れる経済記事を理解し，経済学の考え方を使ったさまざまな分析ができる．（定期試験と小テスト）
(2) 経済問題解決のために使用されている経済学理論が理解できる．（定期試験と小テスト）
(3) 経済学の考え方はいくつもの考え方が存在しているが，その長所と短所を理解する．（定期試験と小テスト）
(4) 経済政策の役割を述べることができる．（定期試験と小テスト）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	経済学とはどんな学問か 経済学の長所と短所 分析方法（1）：ミクロ経済学 分析方法（2）：マクロ経済学 分析方法（3）：マルクス経済学 経済学と経済問題 経済学の歴史	○経済学が経済活動にいかに活用されているのかを知る ○経済学は膨大で精緻な交換過程を分析する道具であることを理解する ○経済学の考え方は大きく２つの流れがあることを知る ○現実の経済問題について、経済学の考え方にもとづいて検討ができる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 資本主義経済とは何か 経済活動の主体と市場 モノの生産と流れ カネの流れ ミクロ経済学（1）：消費者の行動 ミクロ経済学（2）：企業の行動	○資本主義経済システムの仕組みを説明できる ○経済発展とヒト・モノ・カネの動きを関係づけて考えられる ○ミクロ経済学における限界概念を理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	ミクロ経済学（3）：均衡論 ミクロ経済学（4）：効率性の問題 ミクロ経済学（5）：現実への適用 マクロ経済学（1）：ＧＮＰとは マクロ経済学（2）：財政政策 マクロ経済学（3）：財政・金融政策 マクロ経済学（4）：国際経済	○均衡理論の考え方の意義と限界を納得する ○経済の計り方を学ぶ ○政府が経済発展・安定化に果たす役割を理論的に把握する ○国際化による国内経済の変化を説明できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 経済政策とは何か 経済政策は有効か 構造改革とは何か 不良債権問題 ニューエコノミー論 財政赤字の克服の経済学	○経済政策の機能を理解する ○なぜ現代の経済政策は有効に機能しなくなっているのか、これまでの基礎理論をふまえて理解する ○不況の脱出方法を経済学で考えることができる ○今後の経済システムを検討できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	講義の途中でも遠慮なく質問してよいこととする．	【総合達成度】
教科書	高増明・竹治康公『経済学者に騙されないための経済学入門』ﾅｶﾆｼﾔ出版	
参考図書	必要に応じて，講義中に紹介する．	
関連科目	現代社会（１年），政治経済（１年），地理（３年）	
総合評価	４回の試験と講義中に行う小テストで評価する． 総合評価＝（４回の定期試験の平均点）×0.9 ＋（小テストの平均点）×0.1 総合評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　点